

## 第3学年3組 国語科学習構想案

期 日 令和元年7月17日(水) 第5校時  
場 所 大津町立室小学校 3年3組教室  
指導者 講師 松本 直也

### 1 単元計画

(1) **単元名及び題材名** 物語のしかけをさがそう「ゆうすげ村の小さな旅館」(東京書籍3年生上)

#### (2) 単元の目標

物語で起きた出来事を読み取り、叙述に即して想像を広げながら物語のしかけを見つけることができる。

#### (3) 単元のゴールの児童の姿

場面と場面とを関連づけたり、叙述に即して想像を広げたりしながら物語を読み、物語のしかけを見つけることができる児童。

#### (4) 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語についての知識・ 理解・技能
・物語を読むことに興味を持ち、物語のしかけを探しながら読もうとしている。	・場面と場面とを関連づけたり、叙述に即して想像を広げたりしながら、しかけや人物の心情、人物像を読み取っている。	・自分が見つけたしかけや文章から読み取ったり、考えたりしことについて、理由を挙げて書いている。	・表現したり理解したりするために、必要な語句を増やし、物語を考える手がかりにしている。

#### (5) 単元の指導計画(9時間取扱 本時3/9)

次	時	学習活動	指導上の留意点	具体的評価規準
1	1	・題名から内容を想像し、教材文を読み初発の感想を書く。 ・学習の見通しを持つ。	・しかけがある物語を友達に紹介するという学習のゴールを示して、見通しを持たせる。	<b>関</b> 教材文に興味を持ち、初発の感想を書こうとしている。
2	2	・時を表す言葉に気をつけて場面を分ける。	・時を表す言葉に注目させることで、どこで場面が変わるのかを読み取らせる。	<b>読</b> 時を表す言葉に気をつけながら、物語の場面を分けている。
3	3 (本時) 〜 5	・物語からしかけを見つけて、その理由も考えて、互いに伝え合う。	・どうすればしかけを見つけられるかを考えさせることで、言葉や表現に注意して読めばよいことに気づかせる。	<b>読</b> 叙述から想像を広げながらしかけを見つけている。 <b>書</b> しかけだと思ふ理由を書いている。
4	6 〜 7	・つぼみさんと美月さんの心情や人物像を読み取る。	・つぼみさんと美月さんの行動や会話に注目させて、そこから分かる心情や人物像を考えさせる。	<b>読</b> 会話や行動をもとに、つぼみさんと美月さんの心情や人物像を読み取っている。
5	8 〜 9	・自分が選んだおすすめの本やその本にあるしかけを紹介する。	・自分の面白いと思った本を友達に紹介するという目的を持たせて、書く意欲を高めさせる。	<b>書</b> 自分が選んだおすすめの本やその本にあるしかけについての紹介文を書いている。

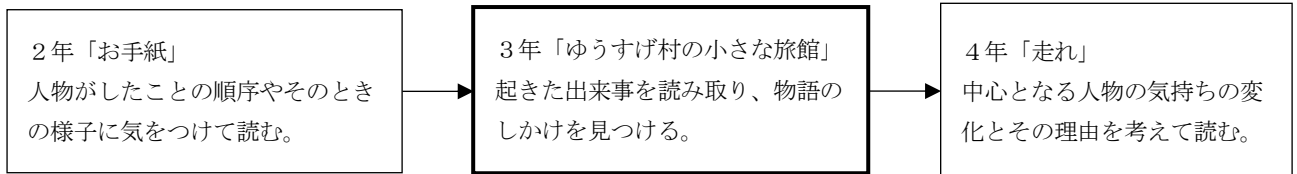
## 2 単元について

### (1) 単元観

本単元は、学習指導要領の第3学年2内容C「読むこと」の「エ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像すること。」および「カ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくこと。」のために設定されたものである。

本単元では、物語の「しかけ」を探すことで、場面と場面を関連づけて読み、出来事や人物の心情、人物像を想像しながら読む力をつけることをねらいとしている。「しかけ」を探すためには、それぞれの場面の出来事を関連づけ、文章中の言葉や表現に注目して読む力が必要になる。また、それぞれが見つけたしかけやしかけだと思った理由を伝え合うことで、一人一人の感じ方に違いがあることに気づくことができる。

### (2) 系統観



### (3) 児童観

本学級の実態は以下のとおりである。(4:あてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:あてはまらない)

質問項目	4	3	2	1
国語の学習は好きだ。	1 2	1 6	5	4
国語の学習が分かっている。	1 1	1 9	5	2
自分が読み取ったことや考えたことを他の人に伝えたいと思う。	6	1 1	1 1	9
国語の授業で教科書の物語をじっくり読むのは面白いと思う。	1 6	1 0	6	5

授業中に積極的に発言したり、自分の考えを広めたりしようとする児童は少なく、友だちの考えに頼っている傾向がある。児童が、自分の意見を自信を持って伝えたり、他の人の意見を聞いたりすることが面白いと感じられる授業を行いたい。物語をじっくり読む面白さを充分に感じられていない児童が20名いる。物語の言葉や表現に注意し、みんなでしかけを見つけていくことで、物語をじっくり読む面白さを実感できるようにしたい。

### (4) 指導観

【研究主題】 「学びに向かう力」の育成～「主体的な学び」へ導く学習指導の工夫～

#### 【わくわくしている姿へ導く視点】

- しかけがいくつあるのかを考えさせたり、友達に見つけたしかけを伝え合ったりさせながら学習を進めていく。

#### 【試行錯誤しようとする姿へ導く視点】

- 自分の考えを表現させるために、まず、個人で考えたり活動させたりする時間を十分に設けて自分の考えを持たせる。そして、一斉指導だけでなく、ペアやグループで伝え合う場面を設けるようにして自分の考えを表現する機会を多くする。

#### 【理解が深まった姿へ導く視点】

- 単元前半で言葉の意味を調べさせたり、言葉や表現に注意しながら様子や場面を想像して読む読み方の有用性に気づかせたりすることで、出来事やしかけ、人物の心情、人物像を読み取りやすくする。

#### 【学びを広げようとする姿へ導く視点】

- 最初に物語を読んだときと授業のまとめとして読んだ時を比べさせることで、言葉や表現に注意しながら物語を読む面白さ感じさせる。また、しかけがかくされた物語を並行読書で親しませ、単元後半では、互いに紹介させる。

### 3 本時の学習

「試行錯誤しようとする姿」へ導くことを目指す。

(1) 目標

叙述に即して想像を広げながら、物語のしかけを見つけ、しかけについて考えることができる。

(2) 展開

過程	時間	学 習 活 動 T発問・指示 C児童の反応	・指導上の留意点 ◇具体の評価規準
導入	5	1 初発の感想を読ませる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美月がウサギだったことに関する感想を引き出す。</li> <li>・どうして美月がウサギと分かるのかと問うことでしかけを見つける意欲を高める。</li> </ul>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">めあて</div> 第三場面で美月がウサギだと分かるところはどこだろう。		
展開	15	2 第三場面を音読してしかけを探す。 <b>【個人】</b> T 美月がウサギだと分かるところに線を引きましょう。いくつあるのでしょうか。 C しかけは、□つある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いくつあるのかを問うことで、しかけを見つける意欲を高める。</li> </ul>
	2	3 自分が見つけたしかけやその理由を伝え合う。 <b>【ペア】</b> C ~がしかけだと思います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで自分の考えを伝え合うことで、一斉で伝え合うさいに自信を持って発言できるようにする。</li> </ul>
	15	4 自分が見つけたしかけやその理由を伝え合う。 <b>【一斉】</b> T どんなしかけがありましたか。 C ~がしかけだと思います。 T なぜしかけだと思ったのですか。 C ウサギは色白だからです。 C 宇佐美とウサギは似ているからです。 C ダイコンの名前にウサギがついているからです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜしかけだと思ったのかを考えさせることで、しかけとウサギの関係を考えさせる。</li> <li>・発言で出たところがしかけといえるかを、全体に問いかけて考えさせる。</li> </ul>
まとめ・振り返り	8	5 学習をまとめる。 T ウサギだと分かるところはいくつありましたか。 T どうすれば見つけることができましたか。 C 言葉に気をつけながら読むと見つけられた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いくつあったのかをノートに書かせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             ◇ 叙述に即したしかけがいくつあったのかを考えて書いている。<b>【読む能力】</b> </div>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>【まとめ】</b> ウサギだと分かるところは□つある。言葉に気をつけて読むと見つけられる。         </div>		
		T ノートに学習の振り返りを書きましょう。	

